

秋葉代表理事ら再任

東北マネ技協

東北建設マネジメント技術協会は、仙台市の東京エレクトロンホール宮城で2026年度定時社員総会を開き、任期満了に伴う役員改選で秋葉敬治代表理事をはじめとする役員を再任した。今年度は新たに協会の周知と発注者支援業務への理解を促すリーフレットを作成して会員のリクルート活動を支援するほか、3、4の両日に仙台市で開かれる「EE東北26」会場内で写真展を開催する。

席上、秋葉代表理事は「発注者と相互理解を深め、課題改善に向けて緊密に連携したい。技術革新に関する取り組みや発注者支援業界のPRも積極的に進めたい」と



語った。写真。

議事では、技術力の確保と高度化につながる研修会・講習会や若手技術者リレートーク、課題抽出アンケート調査・解析、発注者との意見交換会の開催、技術者の地位と生産性の向上などを盛り込んだ26年度事業計画を報告した。

(5・27)

総会ダイジェスト

最新技術の導入・発信を

東北建設マネジメント技術協会

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は5月27日、仙台市の東京エレクトロンホール宮城で2026年度定時総会を開催した。役員改選では理事8人すべてが再任となった。

冒頭、秋葉代表理事は「昨年は東北地方整備局との意見交換を通じ、労働負荷の平準化など業務課題への理解と改善が進んだ1年となった」と振り返り、本年度の重点方針として「インフラDXの推進やAI活用など、最新技術の導入・発信に積極的に関わっていく



秋葉代表理事

ほか、東北土木技術人材育成協議会への参加や講習会の開催を通じて技術研さんを継続していく」と話した。

本年度の事業計画は、確実な技術力の確保と高度化に資する研修会・講習会(インフラDXを含む)などの開催および業務を推進。このほか、東北土木技術人材育成協議会主催の研修業務、写真パネル展による広報活動について、東北地方整備局との共催と関係事務所との協力を得て開催地などの拡大と内容充実、業務遂行に伴う課題の抽出を目的としたアンケートの集約と解析を行い、業務の改善提案などの活動を展開する。

また、担い手確保の取り組みとして、技術協会の業務を紹介したリクルート用チラシを作成し、高校等を対象に発注者支援業務の周知に取り組み、リクルート活動支援を進める。

技術委員会の活動として建設マネジメント業務のニーズ把握とスキル研究、情報収集などを継続的に展開する。